

# 世羅



## 世羅高原の広大な畑で 多彩な品種の梨を栽培

標高400mの世羅高原にある『世羅大豊農園』。約40haの畑に約10種類の梨を栽培し、8月から12月までの期間、途切れることなくさまざまな品種を出荷している。10月以降は、甘みの強い「甘太」、酸味が少なく、甘くて芳醇な香りの「新高梨」などの品種が旬を迎え、数地内にある直売所『山の駅』で販売。「イチオシは、希少品種の『甘太』。抜群の甘さと、シャリッとした食感が特徴です」と組合長理事の松村健立朗さん。10月上旬まで梨狩り(大人1200円、子ども600円)を実施しているので、爽やかな秋風の中、完熟の梨を丸かじりしてみよう。

↓農園で収穫した梨や加工品、地元農家の野菜などを販売する『山の駅』



8月が旬の「新水」。「昼夜の寒暖差が甘くておいしい梨を育てます」と組合長理事の松村健立朗さん。



甘くてジュシーな  
旬の梨を味わおう。



→世羅町の梨は、果実に袋をかけない無袋栽培がスタンダード!

販売スタッフの寺谷豊さん



当園の梨を使った爽やかな梨ソフト(400円)も人気ですよ

↓レトルトカレー、餡、サイダー、ジャム、ゼリーなどオリジナル商品の数々



### 世羅大豊農園

☎0847-27-0231

📍世羅郡世羅町京丸10804-1

🕒8:00 ~ 17:00

📅不定休



# 三原

## ハイクオリティな企画で 三原から芸術文化を発信

2007年の開館以来、三原の芸術文化・地域文化の発信基地として親しまれている『三原市芸術文化センター ポポロ』。世界で活躍する建築家・槇文彦氏が建物の設計を手がけ、施設内にはホールやホワイエ、カフェなどを備える。永田音響設計が担当したホールは、音響の良さが舞台に立つアーティストから支持され、これまでクラシック音楽からポップス音楽、歌舞伎、お笑い、人形劇など多彩な企画を実現してきた。この秋も、鈴木優人のチェンバロ公演(10月)、野村萬斎の狂言(11月)など、注目の公演が目白押しだ。若手アーティストを紹介する企画「新しい音楽の風」も好評。

↓鏡餅のような外観が目を引く。11月~1月初旬にはイルミネーションを実施



副館長の砂田敏晴さん



ポポロらしさとクオリティの高さにこだわり、公演を企画しています

### 三原市芸術文化センター ポポロ

☎0848-81-0886

📍三原市宮浦 2-1-1

🕒9:00 ~ 22:00 (受付は~20:00)

📅12/29 ~ 1/3、施設点検日



音の響きの良さと舞台の見やすさを併せ持つ全1209席のホール

3 音響設備が自慢のホールで芸術鑑賞!



↑バックステージには訪れたアーティストのサインがずらり

↓ホワイエでは、絵画展やピアノコンサートなどを不定期で開催

